

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第292回

『フレディ・ハイモア』の名言

映画『チャーリーとチョコレート工場』

チャーリー役

発行：入試広報室

発行日：令和4年1月31日

編集委員：入試広報室 鈴木

## 今回の言葉

Usually they're just trying to protect  
you because they love you.

愛しているからこそ心配になるんだ。



『チャーリーとチョコレート工場』（チャーリーとチョコレート工場、*Charlie and the Chocolate Factory*）は、1964年のイギリスの小説、『チョコレート工場の秘密』を基に、ティム・バートンが監督、ジョン・オーガストが脚本を担当した2005年のアメリカのミュージカル・ファンタジー映画である。アルフレッド・トーマス・“フレディ”・ハイモアは、イギリスの俳優である。

## Column

今回の言葉は劇中のセリフであり、この言葉の前にジョニー・デップ扮するウォンカが「何かを始めようとする、いつも家族が邪魔をする」という嘆きのセリフに対する言葉です。自由を愛するウォンカにとって家族の存在が足かせになってしまうと感じていましたが、チャーリーは家族には“愛”があるからこそ時に過保護になってしまうということを知っていたのです。まだ幼い子供であるチャーリーがこのような言葉を口にできるほど、チャーリーの家族は大きな家族愛で溢れているということです。映画の中の話とはいえ素晴らしい家族だと感心しました。

例えば相手がいつも一緒に暮らしている家族であっても、クラス内や部活内で苦楽を共にする仲間であっても、自分の“想い”が伝わらないことでトラブルに発展してしまったという経験がある人はみなさんの中にも少なくないと思います。きっとウォンカも最初は常に仲間を意識していたのだと思います。そして、そのようなトラブルが頻発する中で疲れてしまい、孤独を愛することを“選ばざるを得なくなった”のではないのでしょうか。お互いにお互いを理解し合っているはずの関係であってもちょっとした行き違いから解釈の不一致が生まれることはよくある話です。では、なぜそのようなことが起きてしまうのでしょうか。私なりに考えた結果はこうです。結論から言うと『人間には感情があるから』です。今回のテーマにもなっている『愛』も人間の持つ感情のひとつです。ただ、愛以外にも人間には様々な感情を持っており、その感情を与える時や求める時や与えたくない時や求めたくない時があります。そのタイミングもその時の感情（気分や調子）によって左右されます。そう考えると人間とはわがままで複雑な生き物だと感じますが、やはり私たちがこの世界で幸せに暮らしていくためにはもちろん便利さも大切ですが、思いやりなどの『愛（心）』が一番なのではないのでしょうか。愛を受け止めようとする姿勢もまた愛だと私は思っています。これまでのみなさんの人生を振り返ってみてください。わがまを言っても常に愛を持って接してくれる家族や仲間がいると思います。感謝の気持ちと愛を持って応えられるみなさんでいてほしいと願っています。